

**タイ国バンコク市で行う準天頂衛星システム「みちびき」を活用した
車線単位の高精度ルートガイダンスシステムの実証事業に参加いたします。**

株式会社ゼンリンデータコム(所在地:東京都港区港南、代表取締役社長:清水辰彦)は、豊田通商株式会社がタイ国バンコク市で行う準天頂衛星システム(QZSS)*1「みちびき」と衛星信号補正データ生成システム「MADCOCA」*2を活用した、車線単位の高精度ルートガイダンスシステムの実証事業に参加いたします。本実証事業は日本貿易振興機構(JETRO)の「日ASEAN新産業創出事業」第二回公募の採択案件であり、実証実験は2018年3月に実施予定です。

■本実証実験概要

タイ国バンコク市内を走るタクシープロブカーに、準天頂衛星「みちびき」(QZSS)からの信号とMADCOCAの補正データを受信可能な「QZSS対応高精度多周波マルチGNSS*3受信機」を搭載して行います。従来のGPS単独測位に加えて、QZSSやMADCOCAなどを利用して収集するセンチメートル級の位置情報などのプロブ情報を基に、車線単位の高精度交通渋滞情報の生成、高精度ルートガイダンスを配信するための各システムなどの技術評価を行い、最適なルートの提供を目指します。

実証事業期間は、2017年12月～2018年4月、現地実証実験期は2018年3月(予定)となります。

■当社の役割

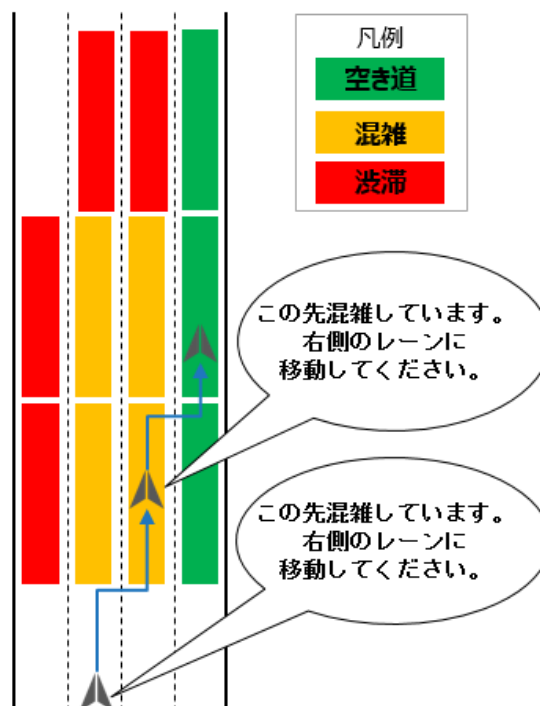
交通規制や渋滞など状況に応じたルート探索機能や、レーンごとに色分けされた高精度な交通渋滞情報の表示と音声ガイダンスを行うナビソフトの提供。

■提供ナビソフトイメージ

高精度交通情報を考慮した案内イメージ



レーンごとの渋滞度を考慮した音声案内イメージ



音声ガイダンス及び、案内表示は現地語(タイ語)となります。

- 1 QZSS(Quasi-Zenith Satellite System) :
準天頂衛星システム「みちびき」。準天頂の衛星が主体となって構成されている日本の衛星測位システム
(衛星からの電波によって位置情報を計算するシステム)
- *2 MADOCA (Multi-GNSS Advanced Demonstration tool for Orbit and Clock Analysis) :
宇宙航空研究開発機構(JAXA)が開発した衛星信号補正データ生成システム。複数GNSS*3対応の精密
軌道クロック推定ソフトウェア
- *3 GNSS (Global Navigation Satellite System)
全地球航法衛星システム。GPS・GLONASS・Galileo・準天頂衛星(QZSS)などの衛星測位システムの総称

会社概要

会社名 : 株式会社ゼンリンデータコム (<http://www.zenrin-datacom.net/>)
本社 : 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟 6 階
代表者 : 代表取締役社長 清水 辰彦
設立 : 2000 年 4 月 13 日
資本金 : 2,283,010 千円 (2017 年 4 月 1 日現在)
事業内容 : ITS 事業 高精度な地図データを活用したテレマティクス事業の展開
 ネットサービス事業 地図をベースとした法人向け付加価値情報サービスの提供
 コンシューマー向け事業 「いつも NAVI」をメインとした、
地図・ナビゲーションサービスの提供
従業員数 : 301 名 (2017 年 4 月 1 日現在)